

平成 21 年度「教育研究支援プロジェクト経費」成果報告書

プロジェクトチームの代表者 コース等名 教員教育国際協力センター
氏 名 服部 勝 彦

プロジェクトの名称	衛星システムを活用した教育研修プログラムの番組制作と提案ー南太平洋大学の所有する衛星システム USPnet を利用したフィジー諸島共和国におけるケーススタディー	配 分 予算額	1,069,000円
プロジェクトの概要	【プロジェクトの目的・方法】 本プロジェクトの目的は、衛星システム USPnet を利用した教育研修プログラムを提案することである。教育研修プログラムを作成するために、平成 21 年 6 月 8 日から 7 月 17 日にかけて実施される JICA 受託事業である地域特設「大洋州地域における算数・数学教育に関する教授法の改善（教員対象）」研修（コースリーダー：齋藤昇教授）の実際をビデオ撮影する。番組制作のための撮影及び編集方法は、TIMSS（国際数学・理科教育調査）ビデオスタディで採用されている授業研究の手法を用いる。教育研修プログラム番組は、「講義編」「教材作成・模擬授業編」「授業研究編」という 3 部構成を予定している。 【教育研修プログラム番組の検討】 制作した番組 DVD を、フィジー諸島共和国（以下、フィジー国）関係者に送り、番組内容について関係者間で検討して頂く。検討結果を受け、番組 DVD を改善し、フィジー国内限定で USPnet を用いて、帰国研修員が実施するワークショップで DVD を使用して頂き、関係者とともに研究協議を行う。日本国内研究会では、フィジー国における協議を踏まえ、番組の更なる改善を図る。 【プロジェクトの意義】 本プロジェクトはフィジー国内に限定して実践する取り組みであるが、フィジー国以外の大洋州諸国へ拡張した番組利用の可能性について、両国において研究協議を行う。特に、日本国内研究会では、ICT 専門家及び国際協力専門家を招聘し、技術的側面についても検討を行う。USPnet は、フィジー国を発信基地として、大洋州諸国のキャンパスに講義等の配信を行っている。日本をはじめ世界各国から支援・援助により、先進的な器材を搭載した設備となっている。このことを踏まえて、USPnet に搭載する教育分野（特に数学教育分野）の番組開発の足掛かりになることが期待できる。		
成 果 の 概 要	【教育研修プログラム番組の制作】 制作した番組は、「カントリーレポート編」「講義編」「模擬授業編」の 3 部構成とした。「講義編」のうち、数学指導法及び学習指導案作成ガイダンスについては全内容を収録し、その他の講義は各 5 分程度に編集した。「カントリーレポート編」及び「模擬授業編」は、フィジー国研修員のものを収録した。 【フィジー国における研究協議】（2009 年 9 月 11 日実施） 帰国研修員によるワークショップにおいて番組 DVD を利用する予定であったが、2009 年 1 月の洪水災害の影響で日程の目途が立たず、ワークショップも実施できなかった。JICA フィジー事務所において、教育省、南太平洋大学、JICA 関係者とともに、番組 DVD を視聴し、ワークショップに役立つコンテンツについて協議を行った。 【日本国内研究会】 ・第 1 回国内研究会（2010 年 1 月 20 日実施） 本学において、ICT 専門家及び国際協力専門家を招聘し、フィジー国における協議結果を踏まえて、コンテンツ改善及び情報発信技術について協議を行った。 ・第 2 回国内研究会（2010 年 3 月 30・31 日実施） 国立教育政策研究所及び筑波大学附属駒場中・高等学校において、数学教育研究者及び実践者とともに、授業研究に役立つ番組制作について協議を行った。 【算数・数学授業研究に係る国際会議への参加】（2010 年 2 月 20・21 日） 国連大学において開催された、筑波大学・アジア太平洋経済協力（APEC）国際会議「授業研究による算数・数学教育の革新（Ⅳ）ー評価法改善と開発途上国に対する国際教育協力に係る教材開発ー」に参加し、算数・数学教育における授業研究について情報収集を行った。 【今後の展望】 今回提案した教育研修プログラムの番組は、現職教員対象の研修をもとに制作したものであるが、教員養成対象の番組としても利用できる。そこで、番組の改善を教員教育国際協力センターの ICT 教育協力研究分野の事業の 1 つとして今後も継続していく。また、フィジー国以外の大洋州諸国に対しても、番組利用を提案し、帰国研修員に対するフォローアップに役立つ資料としての活用も検討する。		

- (注) 1. 箇条書き等により簡明に記入すること。
 2. 概要については、800 字程度にまとめること。
 3. 研究協力者として院生等が参加している場合、院生等の報告書があれば添付すること。
 4. なるべくパソコン等で作成願います。

区 分	品 名 等	規 格 等	数 量	単 価	金 額	備 考
備 品 費				円	円	
小 計					0円	
消 耗 品 費	デジタルHDビデオカメラレコーダー	メーカー：SONY 型番：HDR-SR12	1	79,800円	79,800円	デジタルハイビジョンビデオカメラ Handycam（ハンディカム）（HDD 120GB） HDMI 端子（19ピン標準コネクタ） ←HDMI 端子（19ピン標準コネクタ）
	HDMI ケーブル	メーカー：SONY 型番：DLC-HD20HF HIGH SPEED 対応 HDMI 端子用接続 ケーブル 2.0m	2	4,680円	9,360円	
	リチャージャブルバッテリーパック	メーカー：SONY 型番：NP-FH100	1	17,290円	17,290円	
	三脚	メーカー：SONY 型番：VCT-80AV	1	15,120円	15,120円	
	ガンズームマイクロホン	メーカー：SONY 型番：ECM-HGZ1	1	8,400円	8,400円	
	ACアダプター／チャージャー	メーカー：SONY 型番：AC-VQH10	1	10,080円	10,080円	
	記録用 DVD	メーカー：SONY 型番：20BNR1VBPS4	4	5,240円	20,940円	
	配布用 DVD	DVD-R	1	14,444円	14,444円	ブルーレイ記録保存及びバックアップ用最終予算調整により購入
小 計					175,434円	
そ の 他	業務補助（6月）	800円／時×58時間	1	46,400円	46,400円	ビデオ撮影及び編集作業補助業務
	業務補助（7月）	800円／時×81時間	1	64,800円	64,800円	
	業務補助（8月）	800円／時×41時間	1	32,800円	32,800円	
	フィジー国出張旅費 服部教授	10泊11日	1	401,140円	401,140円	（鳴門←→フィジー国）
	現地タクシー代		1	23,706円	23,706円	（ナンディ空港←→スバ）
	第1回国内研究会 招聘旅費 大平和哉氏	1日	1	3,100円	3,100円	（徳島←→鳴門）
	平塚知真子氏	1泊2日	1	64,640円	64,640円	（つくば←→高松・鳴門）
	第1回国内研究会 謝金 大平和哉氏	5,200円／時×2時間	1	10,400円	10,400円	（国立教育政策研究所及び筑波大学附属駒場中・高等学校）
	平塚知真子氏	5,200円／時×2時間	1	10,400円	10,400円	
	第2回国内研究会 出張旅費 佐伯准教授	1泊2日	1	82,360円	82,360円	
	松寄講師	1泊2日	1	79,360円	79,360円	
	国際会議出張旅費 松寄講師	2泊3日	1	74,460円	74,460円	
小 計					893,566円	（国連大学）
合 計					1,069,000円	